【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第３区分
【発行日】平成25年2月21日(2013.2.21)

【公開番号】特開2011-147026(P2011-147026A)
【公開日】平成23年7月28日(2011.7.28)
【年通号数】公開・登録公報2011-030
【出願番号】特願2010-7337(P2010-7337)
【国際特許分類】
Ｈ０４Ｎ　5/225　(2006.01)
Ｇ０３Ｂ　17/02　(2006.01)
Ｈ０４Ｎ　101/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０４Ｎ　5/225　Ｄ
Ｈ０４Ｎ　5/225　Ｅ
Ｇ０３Ｂ　17/02
Ｈ０４Ｎ　101:00

【手続補正書】
【提出日】平成24年12月27日(2012.12.27)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
撮像手段と、
前記撮像手段よりも被写体側に配設された光学部材と、
前記光学部材を保持する第１の保持部材と、
前記撮像手段を撮影者側で保持すると共に、前記第１の保持部材を前記被写体側で保持する第２の保持部材と、を備え、
前記第１の保持部材の撮影者側には、前記撮像手段と第１の保持部材との空間を封止する第１の封止部が前記第１の保持部材と一体成型され、
前記第１の保持部材の被写体側には、前記光学部材と前記第１の保持部材との空間を封止する第２の封止部が前記第１の封止部とは独立して前記第１の保持部材と一体成型形成されることを特徴とする撮像ユニット。
【請求項２】
前記撮像手段は前記第２の保持部材にビスで固定されることを特徴とする請求項１に記載の撮像ユニット。
【請求項３】
前記第２の保持部材は金属で構成されていることを特徴とする請求項１又は２に記載の撮像ユニット。
【請求項４】
請求項１乃至３のいずれか１項に記載の撮像ユニットを備えることを特徴とする撮像装置。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１０
【補正方法】変更

【補正の内容】
【００１０】
本発明の撮像ユニットは、撮像手段と、前記撮像手段よりも被写体側に配設された光学部材と、前記光学部材を保持する第１の保持部材と、前記撮像手段を撮影者側で保持すると共に、前記第１の保持部材を前記被写体側で保持する第２の保持部材と、を備え、前記第１の保持部材の撮影者側には、前記撮像手段と第１の保持部材との空間を封止する第１の封止部が前記第１の保持部材と一体成型され、前記第１の保持部材の被写体側には、前記光学部材と前記第１の保持部材との空間を封止する第２の封止部が前記第１の封止部とは独立して前記第１の保持部材と一体成型形成されることを特徴とする。